

# 第17回 コスモスイニシア Jr.カップ 大会 実 施 要 綱

- ◎ 主 旨 公式戦の少ない小学校4年生以下の低学年を対象に、公式大会と同等の競技意識・目的意識を持って臨む試合の機会を提供し、実戦経験と育成の場として活用する。
- 少年軟式野球チームが広く地域の枠を超えて会し、競技を通じて団員・指導者・育成母集団相互の交流を深め、友好の輪を広げる。
- ◎ 主 催 コスモスイニシア Jr.カップ大会実行委員会
- ◎ 特別協賛 株式会社 コスモスイニシア
- ◎ 参加資格 小学校1年生以上4年生以下で構成される単独のチームで、かつ本要綱の内容に同意したチームであること
- ◎ 参加チーム 以下の28チームとする
- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 浅間台パワーズ（上尾）       | 大宮ツインズ（大宮）     |
| 大宮パワーズ（大宮）        | 大宮ファミリーズ（大宮）   |
| 桶川カーディナルス（桶川）     | 桶川ヤンキース（桶川）    |
| 上高野クリッパーズ（幸手）     | 瓦葺クーガーズ（上尾）    |
| さいたまオールウェイズBC（大宮） | さいたまスターズ（大宮）   |
| さいたまフェニックス（大宮）    | 栄和クラブ（浦和）      |
| 笹目東イーグルス（戸田）      | 桜田チェリーズ（久喜）    |
| 白岡ウィングス（白岡）       | 島小タイガース（大宮）    |
| 高階キングス（川越）        | 高砂マリーンズ（浦和）    |
| 中川メッツ（大宮）         | 常盤少年野球クラブ（浦和）  |
| 春岡スポーツ少年団（大宮）     | 東与野フェニックス（与野）  |
| 富士見コンドルズ（上尾）      | 宮原ドラゴンズ（大宮）    |
| 本太ピクターズ（浦和）       | YOUフレンドクラブ（与野） |
| ★風の子スポーツ少年団（与野）   | 三橋ヤンキース（大宮）    |

※50音順 ★は今大会より新規参加のチーム

◎ 大会形式 参加全チームの組み合わせによるトーナメント方式とする。

◎ 日程 以下の通り行なうものとする。

○ 抽選会  
・日時 } ※今回は開催致しません。  
・会場 }

○ 開会式  
・日時 } ※今回は開催致しません。  
・会場 }

○ トーナメント戦

・日時 } 大会実行委員会にて編成済み（別紙を参照）  
・会場 } 2023年10月下旬～2023年3月上旬までを予定。

○ 表彰式・閉会式

・日時 } 3月上旬に閉会式イベントを開催します。※詳細未定。  
・会場 }

◎ 参加費用 1チーム 2,000円 ※集金方法は後日ご連絡致します。

◎ 競技規定 別項の大会規定に従うものとする。

◎ 審判運用 別項の審判運用規定に基づき、運用するものとする。

◎ 免責事項 本大会の実施に際し、主催者は大会の運営に関する傷害保険・損害保険には加入しない。従って、大会期間中において参加する選手・指導者及び父兄が被った傷害・損害、同じく大会会場までの移動中に発生した事故等によって被った傷害・損害、及び会場として使用した施設に与えた損害等に対する補償については、主催者はその一切を負わないものとする。

◎ 登 録 別紙の大会登録名簿に必要事項を記入し、大会実行委員会への提出（メールによる）を以って登録とする。

○ 監 督 … 1名

- ・選手と統一されたユニフォーム・帽子を着用し、背番号は必ず30番を付けること。

※ 監督を代理する場合、抗議権等の所在を明らかにする為、試合前に審判並びに相手チーム監督に申告し、承諾を得ることとする。また、この場合の服装は自由とし、背番号の有無も問わないが、選手と統一された帽子を必ず着用すること。

○ 選 手 … 30名まで

- ・小学校1～4年生までの団員とする。
- ・団員登録をしていない者の登録・参加は、万が一の事故や負傷への補償等の観点からこれを認めない。
- ・原則として背番号を貼付した統一されたユニフォーム・帽子を着用すること。ユニフォーム以外の服装で出場する場合、試合前に審判並びに相手チーム監督に申告し、承諾を得ること。
- ・背番号は原則として主将を10番とし、それ以外は特に通し番号等でなくても構わないが、番号の重複は認めない。また試合に際しては、必ず登録名簿で登録された番号を付けること。

○ 登録審判 … 2名

- ・自チームの当該試合以外の審判を担当することを前提とするため、ある程度の審判経験のある者（4年生レベルの球審を出来る者）を登録すること。

※ 詳細については、大会規定の【登録】21項～24項を参照のこと。

★ 上記の監督・選手以外に、以下の者のベンチ入りを認める。登録は不要とする。

○ コ ー チ … 若干名（スコアラーを含む）

- ・服装は自由とするが、選手と統一された帽子を必ず着用すること。選手と統一されたユニフォームの着用が望ましい。
- ・スポーツ少年団の指導員資格の有無は問わない。

○ 父 兄 … 若干名

- ・原則として指導者的な立場での参加を希望する者とする。
- ・服装は自由とするが、選手と統一された帽子を着用することが望ましい。

○ 父 母 … 若干名

- ・選手への給水、負傷した際の手当て等のフォローアップを目的とする。
- ・最大2名までのベンチ入りを認め、服装・着帽は自由とする。

※ いずれの場合も、監督・コーチ・父兄のベンチ入りは合計7名前後までとする。ただし、アシスタントの父母2名はこれに含まない。

◎ そ の 他 大会運営の都合上、以下の点にご理解とご協力をお願いいたします。

○ 試合スケジュールの申告、並びに試合結果の報告について

- ・ 抽選会の時点で決定していなかった試合については、日程が決定しだい、その試合の会場・日付・開始時刻をメールにて以下の大会記録部まで必ず報告して下さい。
- ・ 試合結果の報告は勝者側チームにより、別途配信の結果報告書（エクセルファイル）に必要事項を入力し、試合終了の当日中にメールにて以下の大会記録部までお願い致します。

大会記録部・吉村：yoshimura@ci.cigr.co.jp 山形：yamagata@ci.cigr.co.jp

○ 登録名簿の再提出について

- ・ 本大会は、大会期間中での選手の追加登録を認めております。追加登録は登録名簿の再提出をもって受付となりますので、以下のアドレスまで名簿データ（エクセルファイル）を送信して下さい。

実行委員事務局・高橋：c.i.j.c.we.love.jr.baseball@gmail.com

吉村：yoshimura@ci.cigr.co.jp 山形：yamagata@ci.cigr.co.jp

○ ベーラン・遠投選手権について

- ・ 今大会につきましては実施致しません。

○ 駐車場の使用について

- ・ 各会場とも路上駐車は厳禁です。各団にて徹底して下さい。
- ・ 各会場とも駐車場の事故及び盗難等に関しては、主催者は一切責任を負いませんのでくれぐれもご注意下さい。

○ 大会会場となる施設等の使用について

- ・ 免責事項のとおり、大会会場として使用する施設に対しては、損害を与えないようくれぐれもご注意下さい。また、万が一施設に損害を与えてしまった場合には、補償は当該チームで行って頂きますので、予めご了承下さい。
- ・ 大会会場として使用する施設から、いわゆる新型コロナウイルス感染拡大防止対策事項が指定されている場合には、これを遵守するようチーム内で徹底して下さい。

○ 育成母集団からの人員応援について

- ・ 試合を行なう球場によっては選手紹介等のアナウンスを行いますので、その場合には放送要員（うぐいす嬢）として当該チームより各1名ずつ合計2名を、会場の本部席に配置して頂くようお願いいたします。

○ 大会サイト、及び大会Facebookアカウントについて

- ・ 大会のホームページは下記のアドレスになります。また、大会Facebookアカウントへのフォローと「いいね！」を是非よろしくお願い申し上げます。

大会ホームページURL <http://www.cigr.co.jp/company/csr/jrcup.html>

Facebookアカウント <https://www.facebook.com/InitiaCup>

# 第17回コスモスイニシア Jr.カップ 大会規定

## 【 総 則 】

1. 本大会は、以下に特に規定のない事項については、2023年版公認野球規則及び20223年版競技者必携に則り、行うものとする。また、使用グラウンドによっては特別ルール（グラウンドルール）を設けることとし、試合開始前に審判より両チームに説明することとする。
2. 試合中にルールの解釈に疑義が生じ、事態が紛糾した場合は、四審の協議に基づいて判定を下し、それでも判断が付かない場合には主審（責任審判）が判定を行うものとする。その場合、その判定は当該プレイの最終判定とし、異議は唱えられないものとする。

## 【 試 合 】

3. 本大会の参加対象は参加各チームに所属する小学校1年生以上4年生以下の児童・学童で、スポーツ傷害保険、もしくはこれに準ずる傷害保険への加入手続きの完了した者とする。
4. 塁間距離は21mとし、投手板と本塁間は15mとする。但し、ゲームが2024年1月以降に行われる場合は、塁間23m、本塁間は15mとする。
5. 試合は原則として5回戦とし、5回を終了した時点で同点の場合は延長戦に入ることを認める。ただし、いずれの場合も1時間20分を超えて新しいイニングに入ってはならない。
6. 上記の時間内で勝敗が決しない場合は、1回の特別延長戦（タイブレーク）を行う。特別延長戦は互いに1アウト満塁から行い、直前のイニングの最終打者を1塁走者とし、2、3塁走者は順次その前の打者とする。打者は継続打者とする。
7. タイブレークを行っても勝敗が決しない場合は、抽選によって勝敗を決定する。  
なお、抽選の用具については、原則としてその試合のホームチーム側で用意するものとする。
8. 本大会では、1イニング内（タイブレークを含む）に3アウトが成立しない場合には、その回の9人目の打者が完了した時点で攻守を交代する「9人打者ルール」を採用する。適用については、以下のとおりとする。
  - ① その回の9人目の打者の打順となった時点で、球審と両チームのベンチとで「打者が9人目であること」を確認する（この際、タイムを宣告するかどうかは、その時の状況により球審もしくは他の塁審が判断する）。
  - ② プレーを再開し、打者が打席を完了するまで試合を続行する。ただし、その打者の打席が完了する前に塁上の走者がアウトになった場合、そのアウトが3アウト目であればその時点で攻守交代とする。
  - ③ 打者が打撃を試み、結果として打者走者が一塁を占有する前にアウトになった場合は、その時点のアウトカウントに関係なく、その一連のプレーの中での他の走者の得点は認めないものとする。
  - ④ 9人目の打者が打席を完了し、結果として打者走者が塁上に残った場合には、一連のプレーが終わった後にダートサークル内にいる捕手、もしくは他の投手・野手がボールを保持した時点で、球審もしくは本塁をカバーしている塁審が「タイム」を宣告し、そのまま攻守を交代する。
  - ⑤ 打者の打撃から始まる一連のプレーの結果、ボールデッドとなった場合には規則どおりの進塁・得点を適用し、その後に攻守を交代する。
  - ⑥ 9人目の打者の打球については、インフィールドフライ・故意落球は適用しない。

- ⑦ 最終回の表の攻撃が終了した時点で、先攻側チームが10点以上の得点差で後攻側チームを上回っていた場合でも、その裏の攻撃が終了するまで（3アウト、もしくは9人目の打者の打席が完了するまで）試合は必ず継続して行なうものとする。

9. 本大会は得点差によるコールドゲームは適用しないものとする。
10. 本大会は低学年の育成を目的にしていることにより、試合中に審判より指導をすることがある。ただし、その中断の時間が長い場合は、審判の判断によりロスタイムとして試合時間には含めない場合がある。
11. 投手の投球回については、選手1名につき1試合あたり3回（9アウト）までとする。ただし、回の途中、ノーアウト、または1アウトの状況で、牽制球等により走者がアウトとなり、それが9アウト目になった場合には、その時点の打者の打席が完了するまで投球することを認める。この場合は、10アウト目まで投げる可能性があるが、例外的にこれを認める。
12. 投手の投球数について、本大会の試合が同日複数実施される場合には、合計60球までとする。ただし、対する打者の途中で60球に達した場合は、その打者の打席が完了するまで投球することを認める。
13. 投手の投球練習は試合開始時及び投手交代時は7球とし、継続回は3球とする。ただし、運営上の都合により短縮する場合もある。
14. 悪天候などによる試合続行の可否については、大会実行委員会と当該試合の会場を提供したチームが協議の上、判断を下すものとする。また試合会場の近辺にて落雷が発生、もしくは発生する恐れがある場合には、試合を即時中止しなければならない。なお、中止された試合の扱いについては、公認野球規則7.01項、及び7.02項に準ずる。
15. ボークについては罰則（走者の進塁）を適用せず、原則として指摘と指導のみとする。また、ボークと指摘されたプレーを含む一連のプレーの結果については、以下のように処理する。
- ① 牽制球を投じた結果、走者がアウトになったような場合にはそのアウトを取り消し、そのプレーが起こる前の状態から試合を再開する。
  - ② 投じた牽制球が逸れるなどしてボールデッドになった場合には、正規の牽制球の場合と同様に塁上の全ての走者に規則に従い1個ないし2個の進塁を与える。
  - ③ 走者が盗塁を試み、結果としてアウトになったような場合には打者への投球を含む一連のプレーを全て取り消し、そのプレーが起こる前の状態から試合を再開する。
  - ④ 打者への投球を打者が打ち、結果として打者走者が一塁もしくはその先の塁を占有した場合には、そのままプレーを続行する。また、走者が盗塁を試み、結果としてセーフになった場合も同様とする。
  - ⑤ その他のプレーの処理については、審判の判断に従うこととする。
16. 申告敬遠は認めないものとする。
17. 捕手は、出場・控えを問わずファウルカップの着用を必須とする。またグラウンド内にて投手のキャッチボールの相手をする場合には、捕手用ヘルメット・マスク・レガーツ・プロテクターの着用も必須とする。なお、サブキャッチャーがファウルカップを着用していない場合は、インニング間の投手の投球練習の相手をしてはならない。この場合には、指導者が臨時に投球練習の相手をするのを認める。
18. ファウルボールの回収等で選手がベンチを出てグラウンド内に入る場合には、打者用ヘルメットの着用を必須とする。また、シートノック時の補助員についても同様とする。
19. 打者が頭部に死球を受けた場合には、その打者の状態に関わらず一旦ベンチに下がらせることとする。その場合の臨時代走は、塁上にいる走者を除いたその時点で最も打順の遅い選手とする。
20. メガホンはベンチ内に1個のみ持込みを認め、使用者は監督のみとする。

## 【 登 録 】

21. 本大会の登録は監督1名、選手については30名までとする。各々の背番号は登録時に申請するものとし、原則として監督は30番、主将は10番を付けることとする。その他は特に連番等の制限は設けられないが、重複した番号の使用は認めない。またチーム事情により、監督の30番及び主将の10番の使用が不可能な場合は、登録名簿に別の番号を明記し、登録時に大会実行委員会及び審判部にその旨を申し入れ、承諾を得るものとする。
22. 前項の補足として、事情により背番号の貼付やユニフォームの着用が不可能な場合でも、登録・出場は認めるものとする。背番号が貼付できない場合は、登録名簿の背番号欄を空欄として登録し、試合に際しては事前に審判、並びに相手チーム監督にその旨を申し入れ、承諾を得ることとする。また、ユニフォームが使用出来ない場合も上記と同じ手続きを採るものとし、出場に際しては統一された帽子を必ず着用することとする。ただし、ベンチ内においてはこの限りではない。
23. 前二項の補足として、大会登録名簿を提出した以降でも、選手登録の追加や変更を認めるものとする。その場合、追加及び変更された選手の大会への出場は、原則として大会実行委員会への届出後とするが、届出以前であっても試合当日に当該チーム間での合意があれば認めるものとする。
24. 本大会は指導者の参加も広く求めるため、父兄（主に将来的に指導者となることを希望する者）のベンチ入りも認める。その場合、ベンチ入りは監督・コーチ・父兄を含めて合計7名前後までとする。またユニフォームの着用・背番号の貼付も問わないが、統一された帽子を着用することが望ましい。また、選手のフォローアップのため母集団のベンチ入りを若干名認め、これは上記の7名には含まないものとし、服装・着帽も問わない。

## 【 そ の 他 】

25. 大会各試合の実施にあたっては、各チームとも開始予定の1時間前には会場に到着できるように心がけること。また、突発的な事情により試合開始予定の30分前までに到着できないと思われる場合は、大会実行委員会に必ずその旨を伝え、大会実行委員会の指示に従うこととする。また、悪天候等に伴う当日の開催判断については、大会実行委員会と当該試合の会場を提供したチームが協議の上、大会実行委員会が下すものとする。いずれの場合も、特に連絡がない場合は開催されるものとする。
26. 大会各試合の実施にあたっては、気温・湿度等を十分に考慮し、試合を行う選手・指導者、並びに審判員に著しい負担を与えるような気象条件下にあつては、試合は実施しないことが望ましい。また、既に開始されている試合についても、同じく選手・指導者、並びに審判員の体調を十分に考慮し、必要であればサスペンデッドゲームとするか、またはイニング間に休憩時間を設けることが望ましい。なお、この休憩時間については、試合時間に含めないこととする。
27. 審判の運用については、別項の「審判運用規定」に定められたとおりとする。



## ◎ 審判運用規定

1. 準々決勝戦までの試合における審判運用は、当該2チームより2名ずつ、合計4名を出しての当該審判制を原則とする。試合会場の提供チームもしくは組合せ番号の若い方が主審・二塁審を、そうでないほうが一塁審・三塁審を行う。ただし、大会審判部より審判の派遣が可能な場合は、主審・二塁審を審判部での対応とし、組合せ番号の若い方が三塁審を、そうでないほうが一塁審を行う。また同一会場において、本大会の他の試合がその前後に行われる場合は、以下に定めるとおり2チームより2名ずつ、合計4名の義務審判による対応を原則とする。同じく試合会場の提供チームもしくは組合せ番号の若い方が主審・二塁審を、そうでないほうが一塁審・三塁審を行う。ただし、いずれの場合も当該2チーム間、または義務2チーム間で合意が得られる場合には、この限りではない。

例①…当日が一会場1試合の場合

当該2チームより2名ずつ（審判部より派遣がある場合には1名ずつ）

例②…当日が一会場2試合の場合

第一試合…第二試合の2チームより2名ずつ

第二試合…第一試合の2チームより2名ずつ

例③…当日が一会場3試合の場合

第一試合…第三試合の2チームより2名ずつ

第二試合…第一試合の2チームより2名ずつ

第三試合…第二試合の2チームより2名ずつ

例④…当日が一会場4試合の場合

第一試合…第二試合の2チームより2名ずつ

第二試合…第一試合の2チームより2名ずつ

第三試合…第四試合の2チームより2名ずつ

第四試合…第三試合の2チームより2名ずつ

2. 上記については、本来担当すべきチームに属さない第三者のチームによる審判も認めるものとする。ただし、本大会に参加しているチームに所属する者に限定する。
3. 準決勝戦以降については、審判は大会審判部にて対応することを原則とする。ただし事情により対応できない場合は、大会参加各チームに対し協力を求めることとする。
4. 準々決勝戦までの試合の審判員については、スポ少の審判員資格や審判講習会の受講、および経験の有無はこれを問わないものとする。
5. 試合に際しては、球審は必ず審判服・審判帽を着用し、ファウルカップを使用すること。また、塁審に関しても審判服・審判帽の着用が望ましいが、用意出来ない場合はそれ以外の服装でも構わない。ただし、ユニフォームを含んだ服装で審判をすることは認めない。

※ 各団の審判員育成の為、本大会の試合を大いにご活用下さい。

◎ 大 会 役 員

大 会 会 長 森 田 和 彦 株式会社コスモスイニシア

大会実行委員長 西 山 晃 由 大宮ツインズ

大 会 審 判 長 齊 藤 一 弘 さいたまフェニックス

大 会 記 録 部 吉 村 昌 浩 株式会社コスモスイニシア

大会実行委員 吉 村 昌 浩 株式会社コスモスイニシア

丸 尾 壮 一 株式会社コスモスイニシア

北 川 立 也 株式会社コスモスイニシア

岩 崎 純 一 株式会社コスモスイニシア

山 形 侑 雅 株式会社コスモスイニシア

老 川 裕 一 大宮パワーズ

島 村 諭 央 大宮パワーズ

南 洋 一 さいたまスターズ

城 山 典 康 さいたまスターズ

朝 比 奈 敬 典 さいたまフェニックス

水 谷 隆 司 東与野フェニックス

春 日 克 己 YOUフレンドクラブ

実行委員事務局 高 橋 尚 夫 島小タイガース